

7月20日(月)

従いますか…

聖書朗読 ルカ 9:57～62

あなたがたが召されたのは、実にそのためです。キリストも、あなたがたのために苦しみを受け、その足跡に従うようにと、あなたがたに模範を残されました。
ペテロ I 2:21

「リーダーに続け」という子供の遊びは、参加者が「リーダー」の動作に注目して「リーダー」の動作を真似する遊びです。ゲームの参加者たちは、いわば「リーダー」に喜んで従うのです。

本日の聖書朗読箇所、主イエスは二人の男に「ついて来なさい」と仰いました。主は彼らの心を試されたのです。イエス様は彼らに、自分の家族に対して無責任になれと言われた訳では決してありませんが、神様を第一に求める姿勢と、霊的な祝福を最優先にする姿勢とを持つことを願っておられました。しかし、男たちの考えは、次のような考えでした。「主を第一にして従う決断はまだ出来ません。その前に、することが沢山あるのです。ですから、もう少し待ってください。」

私たちは、キリストにすべてをゆだねて従い始める前に、しなければならない沢山のことがあるのでしょうか。私たちは、心が自分自身の関心事でいっぱいになりすぎていて、神様に従うことの大切さが見えなくなってしまうのかもしれない。私は「教会や奉仕だけでひたすら忙しく生活してください」と言っているわけではありません。そうではなく、「(自分の関心事よりも)まず神様にすべてをゆだねる」ことが大切ではないかと、私は思うのです。

主イエスは私たちに、「私のもとに来なさい」と招いておられます。今こそ、主に応答する時です。主を信頼しましょう。主に向かって、一歩踏み出しましょう。

讃美歌 291 主にまかせよ

祈り 父よ、サタンから、そしてサタンが用いる嘘から、私をお守りください。
私があるに従うことが出来るようお導き下さい。イエス様の御名によりお祈りいたします。アーメン。

テキサス州ラボック / アニタ・プライス

今日の力

2026年7月20日～7月26日

翻訳 伊藤 若菜

編集 相川 忠義

この冊子の聖句は新改訳聖書第三版を使用しています
※翻訳・編集以外でも協力して下さっている兄弟姉妹がいます

御茶の水キリストの教会

7月21日(火)

解 決 さ れ た 問 題

聖書朗読 ルカ 10:17~24

ですから、神に従いなさい。そして、悪魔に立ち向かいなさい。そうすれば、悪魔はあなたがたから逃げ去ります。神に近づきなさい。そうすれば、神はあなたがたに近づいてくださいます。
ヤコブ 4:7-8b

ベックおじさんのところには、「トラブル」という名前の犬がいました。5歳の頃、私はその犬はまさに名前通りだと感じていました。ベックおじさんの家には外便所があり、そこへ続く小道は別の小道(トラブルが居る道)と並行していました。ですから、外便所に行くのはとても恐ろしいことでした。トラブルが待ち構えていたからです。

しかし、(トラブルが近くに居ても)外便所へ行く道が安全だと理解してからは、私はその道を安心して歩けるようになりました。トラブルは長い物干しロープに繋ぎ止められていたので、私の進路と並行して進むことはできましたが、私のすぐ近くまで来ることはできなかったのです。確かにトラブルは恐ろしい存在でしたが、いつも縛られていました。ですから私は不安を感じずに外便所へ行くことが出来たのです。トラブルがどれだけ大声で吠えていても、もはや、彼が私に危害を加えることはできなかったのです。

本日の聖書朗読箇所、サタンが自分たちに害を加えることはないことを知った時の(主によって遣わされた)70人が感じた安堵感は大きかったことでしょう。彼らは、神様がサタンの力を抑え込んでくださったことを体験したのです。サタンは全能の神により縛られていました。サタンが近くに居ても、私たちを愛してくださっている全能の神様が、サタンを縛り、サタンから私たちを守ってくださっているとは、なんという祝福でしょうか。

讃美歌 267 神はわがやぐら

祈 り 親愛なる父よ、どうか私たちの目を開いて、あなたの栄光と勝利に目を向けられますように。イエス様の御名によりお祈りいたします。アーメン。

テキサス州オデッサ / ペニー・F・ニコルズ

7月22日(水)

謙 虚 に ひ れ 伏 す

聖書朗読 ルカ 14:1~14

しかし、神は、さらに豊かな恵みを与えてくださいます。ですから、こう言われています。「神は、高ぶるものを退け、へりくだる者に恵みをお授けになる。」
ヤコブ 4:6

本日(私がこのデボーションの原稿を書いている日)は、クリスマスとイースターの間の、とある一日です。そしてクリスマスとイースターは、どちらも洞窟が関係しています。多くの人が持っているイメージとは異なるかもしれませんが、イエス様は恐らく洞窟で生まれ、そして洞窟で復活を遂げられました。ですから、それらの洞窟に入ろうとする人は、身をかがめる必要があったと言えます(参照、ルカ 24:12)。恐らく、お生まれになった救い主を訪ねてきた羊飼いたちも、身をかがめて洞窟に入ったのではないのでしょうか。

神様の御前で身をかがめたり頭を下げたりすることは、神様に対する畏敬を表す行為であり、その人の謙虚さを示すと言えます。ベツレヘムでお生まれになったイエス様に対し、そして復活された主イエス様に対し、私たちが畏敬と謙虚さを持つことは、大切なことではないのでしょうか。

しかし、しばしば私たちは自己中心的に振舞ってしまい、(いわば)「神様がおられる洞窟の入り口」で頭をぶつけることがあります。つい神様をないがしろにし、自分自身の価値観で生きてしまう時があるのです。

私たちが神様の御前に立つ時、私たちはどのような態度を持つべきでしょうか。謙虚にへりくだる態度でしょうか？ それとも自分のプライドに支配されてしまった態度でしょうか？

讃美歌 333 主よわれをば

祈 り 主よ、人生のあらゆる場面において、私たちがあなたの御前に謙虚にひれ伏すことを学べますように。イエス様の御名によって。アーメン。

テキサス州ベッドフォード / マーク・ゴメス

7月23日(木)

選ばれています

聖書朗読 ルカ 19:1～10

イエスは、彼に言われた。「きょう、救いがこの家に来ました。この人もアブラハムの子なのですから。人の子は、失われた人を捜して救うために来たのです。」
ルカ 19:9～10

一般的に、「自分が選ばれる」ということは嬉しいことです。ですから(アメリカの)子供たちは、例えば手品師が「会場の中から助手を募ります」と言うと、手を高く伸ばして、自分を選んでくれと懇願します。また、スポーツ等では選手に選ばれたいと強く願うものです。「選ばれる」ということは、「自分が必要とされている」ということであり、嬉しいことです。しかし反対に「自分はもう誰からも必要とされていない、愛されていない」と感じる時、私たちは大変みじめな気分になります。

そのような意味で、ザアカイは大変みじめな気分を味わっている人だったと言えます。しかし、そんなザアカイに、イエス様のほうから声をかけてくださいました。ザアカイは自分からイエス様に声をかけて、食事に来てくれるようお願いした訳ではありません。イエス様がザアカイを選んでくださったのです。(普通に考えれば)イエス様がザアカイを選ぶべき理由は見当たりませんが、イエス様はザアカイを選んでくださり、そして私たちをも選んでくださっているのです。

私たちが自分たちの罪の重大さを理解する以前から、そして私たちには(罪の解決のための)助けが必要だと理解する以前から、イエス様は私たちに目を留めてくださっていました。私たちは、罪の問題を前にして無力で望みのない者でしたが、主はそんな私たちをありのままで受け止め、救いのためにこの世界に来てくださったのです。神様がどうしてこんな私たちを選び愛してくださるのだろうと私たちは不思議に思っていますが、神様はそうして下さったのです。そして神様は「どうして彼ら(私たち)を見捨てることが出来よう」とおっしゃるのです。

讃美歌 529 ああうれし、わが身も

祈り 神様、あなたの無償の愛を感謝いたします。私たちがあなたの愛に気付き、そしてこの恵みを周りの方々と分かち合うことが出来ますよう、私たちを助け導いてください。イエス様の御名において。アーメン。

テキサス州コーパスクリスティ / マーク・S・アダムス

7月24日(金)

全てをゆだねる

聖書朗読 ルカ 22:39～46

キリストは、人としてこの世におられたとき、自分を死から救うことのできる方に向かって、大きな叫び声と涙とをもって祈りと願いをささげ、そしてその敬虔のゆえに聞き入れられました。
ヘブル 5:7

「がんです…」と医師に告げられたときは、本当にショックでした。私より前に、多くの人が同じ言葉を耳にしてきたことでしょう。しかし、私がそう告げられるなんて、思いもよりませんでした。私は涙を流し、他の人たちは私のために祈ってくれました。私も祈り、神様に自分自身をゆだねることが出来るようお願いしました。「私の思いではなく、あなたの御心が行われますように」と。

この大いなる試練の中で、神様は、私の家族をお用いになって、私と夫を支えてくださいました。私を助けてくれた私の家族は、まるで神様がお遣わしになった天使のようでした。彼らは、料理をしたり、掃除をしたり、お花を持ってきてくれたりしました。そして、私たちをぎゅっと抱きしめてくれました。さらに教会の兄弟姉妹たちも、声を掛け合ってカードや食べ物を持って来てくれました。そして絶え間なく祈ってくださいました。「一つの部分が苦しめば、すべての部分がともに苦しみ…」(I コリント 12:26)という聖書の言葉を実践してくれたのです。

十字架を前にして、イエス様は父なる神様にご自身をおゆだねになりました。そして父なる神様は、イエス様が大いなる受難をされる上で必要な力を、与えてくださいました。涙を流して苦しみもだえるイエス様に、御使いたちが現れ、イエス様を力付けたのです。

「私の思いではなく、御心がなりますように」。私も、(イエス様にご自身を父なる神様にゆだねたように)私自身を神様にゆだねたいと思います。父なる神様がイエス様を力付けたように、神様は私をも力付けてくださるからです。

聖歌 295 成したまえなが旨

祈り 天の父なる神様、私は私自身をあなたの御手にゆだねます。イエス様の御名によって祈ります。アーメン。

コロラド州プエブロ / キャロル・ローズ

7月25日(土)

イエス様の眼差し

聖書朗読 ルカ 22:54～62

御顔を私の罪から隠し、私の咎をことごとく、ぬぐい去ってください。神よ。私にきよい心を造り、ゆるがない霊を私のうちに新しくしてください。

詩編 51:9～10

聖書に登場する人々の中で、私が最も共感するのはペテロです。彼は普段はとても誠実な人でしたが、やや猪突猛進的なところもあり、勢い余って失敗してしまうことも多々ありました。

例えば、イエス様がペテロに「鶏が鳴く前に、あなたは三度わたしを知らないと言います」と告げたとき、ペテロはそんなことはない、と(自分の弱さを顧みずに)それを強く否定しました。また、イエス様が逮捕された時、ペテロは(自分勝手な考えに基づいて)大祭司の召使いの耳を切り落としてしまい、イエス様に叱責されました。さらに、イエス様が逮捕された後、大司祭の家の中庭でイエス様の仲間かどうか問われた際、ペテロは恐怖心のあまり三度も否定してしまったのです。すると、雄鶏が鳴いたのです。

この箇所は聖書全体を通して最も胸を打つ場面の一つだと思います。イエス様は、振り返ってペテロをご覧になりました。ペテロはイエス様の眼差しを感じたのではないのでしょうか。そして、ペテロはイエス様の言葉を思い出し、外に出て激しく泣いたのです。

私は、イエス様をこの目で見ることにはできませんが、それでも私は知っています。たとえ私が失敗したとしても、主の眼差しは私の悔い改めた心を見てくださり、私を慈しんでくださる眼差しである、ということをです。自分の弱さを認識して悔い改める時、私たちは主の赦しと揺るぎない愛を知ることが出来ます。いずれ天の御国で、私はイエス様と顔と顔を合わせてお会いすることになります。その時、主の眼差しの中に、神様のあふれるばかりの愛を私は見るのだと思います。

讃美歌 243 ああ主のひとみ

祈り 神様、私が失敗した時、あなたに立ち返ることが出来ますよう、助け導いてください。あなたの愛にあふれる眼差しに感謝いたします。イエス様の御名によって。アーメン。

テキサス州ナコドチェス / デビー・ハリソン

7月26日(日)

御言葉の力

聖書朗読 ヨハネ 1:1-4、14

そのように、わたしの口から出るわたしのことばも、むなしく、わたしのところに帰っては来ない。必ず、わたしの望むことを成し遂げ、わたしの言い送った事を成功させる。
イザヤ 55:11

言葉には力があります。

言葉は人を傷つけ心を打ち砕くこともあれば、逆に癒やし、希望をもたらすこともあります。(創世記の)エバを誘惑して罪に陥れた時も、蛇の言葉が使われました。

神様が語られるとき、私たちは耳を傾けます。「神のことばは生きていて、力があり、両刃の剣よりも鋭い」(ヘブル 4:12)。神様が私たちにお語りになる御言葉(みことば)には、私たちの魂を救う力があります。神様の御言葉は、私たちが困難の中にいる時私たちを強めます。また、あらゆる思い煩いを超える平安をもたらし、私たちを神の御国へと導きます。

御言葉によって導かれ、私たちは教会すなわち神の家族の一員とされます。そして教会において、私たちは愛ある言葉をもって互いに励まし合うことが出来ます。私たちが御言葉を聞き、そしてそれを実践する時、私たちは家(岩のような)確かな土台の上に建てた賢い人のように生きることが出来るのです。

神様の力強い御言葉を心に刻みましょう。「誰かを励ますために、どんな言葉を使って声を掛けようか？」と思う時、あるいは「どうすれば自分の信仰生活をより豊かにできるだろうか？」と思う時、その答えはイエス様にあります。イエス様ご自身が御言葉なのですから。「ことばは人となって、私たちの間に住まわれた。私たちはこの方の栄光を見た。父のみもとから来られたひとり子としての栄光である」(ヨハネ 1:14)。

讃美歌 501 生命(いのち)のみことば

祈り 神様、あなたの力強い御言葉によって、私たちに力を与えてください。私たちが、他者を励ますために言葉を用いることが出来ますよう、助け導いてください。イエス様の御名によって。アーメン。

コロラド州プエブロ / キャロル・ローズ